

一 般 質 問 通 告 事 項

(平成30年第2回白岡市議会定例会)

第1通告者 13番 石原富子 議員

1 民泊について

6月15日から住宅宿泊事業法が施行され、民家での宿泊が全国的に解禁となるが、近隣とのトラブルや環境の問題、治安等、色々な面で不安を感じている住民も多い。市としてどのように対応していくのか。

- (1) 市としては民泊をどのように捉えているか伺う。
- (2) 申込みの現状を伺う。
- (3) リスク対応はどのように考えているか伺う。
- (4) 市としての今後の方向性を伺う。

2 「白岡市子どものネット利用宣言」の定着と今後について

SNSによる子どもたちのいじめやネットの長時間利用等、ネット利用の仕方が問題になっている。「白岡市子どものネット利用宣言」を作成したが、現状と今後について伺う。

- (1) 昨年度末に全生徒に配布したが、活用されているか。
- (2) SNSによるいじめ等は起きていないか。
- (3) 情報モラル教育はどのように行っているか。今後は。
- (4) ネットパトロールの必要性と方策について。

第2通告者 14番 大倉秀夫 議員

1 「こもれびの森」の駐車場確保について

周辺施設の駐車場スペースに何台駐車できるのか。駐車場確保の計画を伺う。

2 小久喜里団地付近の水路の浚渫と蓋架けについて

水路の浚渫と蓋を架けてもらえれば悪臭の防止にもなり、狭い道路が歩道として活用できると期待するが、市の計画は。

3 菁莪幼稚園付近の通学路の市道U字溝の蓋架けを

U字溝に蓋架けがないので危険を感じる。通学路なので蓋架けをして安全な道路にできないか。

第3通告者

3番 関口昌男 議員

1 環境問題への取組の強化を

- (1) 環境問題の現状と白岡市の取組について。
- (2) 再生可能エネルギー発電設備導入事業について。
- (3) 埼玉県や他の自治体の取組から学ぶもの。
- (4) ソーラーシェアリングへの支援を。
- (5) 今後の取組強化の方向について。
- (6) 東京新聞の記事より。

2 国民健康保険財政の見直しを

- (1) 国民健康保険の都道府県化で明らかになったこと。
- (2) 引続く課題について。
- (3) 白岡市の引上げの実態について。
- (4) 白岡市の国民健康保険の方向性について。

第4通告者

16番 菱沼あゆ美 議員

1 ひきこもり支援について

- (1) 県の相談サポートセンター・県の精神保健福祉センター・幸手保健所の各相談窓口と生活困窮者の相談などでの現状を伺う。また、その支援状況は。
- (2) 市として支援が必要な人の実態調査をすべきではないか。また、今後の支援の方向性や具体的な取組の検討などをしていくべきではないか。(訪問支援、就労支援、居場所作り、広域連携支援など)

2 保育所の紙オムツの持ち帰りについて

- (1) 市内保育所での使用済み紙オムツの取り扱いはどのように行っているか。市立と民間保育施設の状況を伺う。また、保護者などの意見や要望などはどのようにになっているか。
- (2) 保護者が持ち帰ることについて、保育所側で回収・処分をしていくべきではないか。

3 ヘルプマークとヘルプカードについて

- (1) 外見では分かりにくい障がいをお持ちの方が、周囲に援助や配慮の必要を伝える手段の一つにヘルプマークがある。導入について伺う。
- (2) 既存のヘルプカードの普及や啓発について、改善をしてはどうか。

4 犬のフン害対策について

- (1) 犬のフン害の現状（苦情など）と対策について伺う。
- (2) 黄色のチョークで印をつける対策を行ってはどうか。

第5 通告者

8 番 遠 藤 誠 議員

1 賑わいづくりについて

- (1) 市内の J R 2 駅の賑いを政策に。
- (2) 自由通路の経緯について伺いたい。直営でないのはどうしてか。
- (3) 自由通路をもっと活用したら。
- (4) 通勤通学者の市への愛着の一要素ではないか。

2 市民の移動手段について

- (1) ささえあいミーティングの移動外出支援と乗合タクシーの関連は。
- (2) 市の考えている公共交通の対象はどこなのか。

3 農業、農地について

- (1) 篠津北東部地域の農地をどうするのか。
- (2) 大山地区をどうするのか。
- (3) 菁莪地区をどうするのか。
- (4) 市の農業、農地をどうするのか。

第6 通告者

1 番 井 上 日出巳 議員

1 子どもの安全対策について

新潟市の女子児童の事件は対岸の火事ではない。事件を受けての当市の対策は。

- (1) 当市において、不審者に声をかけられたり、追いかけられたりなどの危険な目に遭った子どもたちの事例はどれくらいあるか。

(どのような事例か。)

- (2) 不審者が逮捕されたり、事件は解決しているのか。
- (3) 今回の事件を受けて、子どもの安全対策は強化されたのか。

2 白岡市の文化財について

日本初の実測地図を完成させた伊能忠敬測量隊の白岡での宿泊先が判明したとの新聞記事を見たが、市はこれをどのように取り扱うのか。

また、様々ある市の文化財はどのように保存、伝承、活用、発信されているのか。

3 樹木、雑草、ごみ等の問題について

敷地から著しくはみ出している樹木や雑草、ごみ等を見かけるときがあるが、非常に危険な場合もある。適正な是正指導は行われているのか。

第7通告者

17番 高木隆三 議員

1 交通安全教育の推進について

- (1) 市内における全体の交通事故発生数及び18歳未満の事故発生数は。
- (2) 小学生への交通安全教育の取組と成果について。
- (3) 各小中学校における通学路の安全点検で、特に交通安全の視点からの成果と対策は。
- (4) 中学生・高校生への「自転車安全教育推進宣言」を実施し、「自転車運転免許制度」の導入及び「教職員向け安全講座実施」の考えは。
- (5) 白岡市は、現在交通死亡事故ゼロを更新中である。大変すばらしいことであるが、市として更なる無事故啓発の一環として、市内外へ発信を考えてはいかがか。市長の考えを伺う。

2 大規模災害団員の導入の考えは

大規模災害団員は、災害時の消防団の役割が多様化する中で、今後発生する大災害において、通常の団員だけでは、対応できない事態に備えるための大規模災害限定の消防団員である。政府は自治体

に導入を促している。

- (1) 白岡市消防団員数の現状と今後の推移についての考えは。
- (2) 消防団の大規模災害を想定した場合に、現在の団員数で対応できるか。また、消防団の実態アンケートを実施する考えは。
- (3) 当市の機能別団員制度導入制度の設置状況と取組は。
- (4) 大規模災害団員制度の導入が、防災体制の強化になると考えるが、当局の考えは。

第8通告者 6番 細井 公 議員

- 1 SNSソーシャルメディアサービスの積極的利用について
外部への情報提供ツールとして、より積極的に活用する必要があると思うが、考えを伺う。
- 2 都市計画税の現状と今後について
都市計画税の使途について、納税者の受益率、対象事業の履行率がどの程度か伺う。

第9通告者 15番 江原 浩之 議員

- 1 小学校の英語教育について
 - (1) 小学校の英語教育の状況と小学校教諭の英語指導力の向上は。
 - (2) 授業時数確保の方針は、どのようにするのか。
- 2 市と県立白岡高等学校との連携について
 - (1) 市の地域活動など、県立白岡高等学校との状況は。
 - (2) 県立白岡高等学校とまちづくりを、今後どのように連携・強化していくのか。

第10通告者 2番 渡辺 聡一郎 議員

- 1 安心して子育てできる環境を
 - (1) 待機児童の現状について伺う。併せて保留となった児童についても伺う。
 - (2) 一時保育等の多様な保育環境の整備が必要ではないか。昨年的一般質問の進捗状況も含めて伺う。
 - (3) 保育士の充足状況と職場環境について伺う。フレックスタイムや保育士バンク等の導入を検討し、安定した保育体制が構築でき

ないか。

- (4) 今後の保育所整備の考え方を伺う。人口ビジョンやまち・ひと・しごと創生総合戦略等を踏まえ今後の整備方針は。

2 こもれびの森オープンに向けて利用者目線の整備を

- (1) 東北自動車道側道の歩道設置の進捗状況と今後の見通しを伺う。
- (2) こもれびの森の開館により市役所周辺には歩行者や自転車の増加が予想される。家族連れや子どもたち、高齢者に配慮した安全対策が必要ではないか。（特に周辺のアンダーパスの安全対策について伺う。）

第1 1 通告者

4 番 齋 藤 信 治 議員

1 高齢者の虐待・貧困について

生活に困窮している高齢者が増加している。虐待・貧困の観点から伺う。

- (1) 生活に困窮している高齢者に対する対策は。
- (2) 高齢者の虐待・暴力に関する実態は。
- (3) 高齢親の年金に頼る家族の生活は。

2 義務教育機会確保法に関して

義務教育機会確保法が成立し、不登校児や外国籍の方など十分に義務教育を受けていない人々に対して、夜間中学等を設立するなどして教育の機会を掴むことが、義務付けられた。市の方向性を伺う。

- (1) 県及び市の潜在的ニーズを把握しているか。
- (2) 不登校のまま卒業した人たちについて、不登校の実態は。また、卒業後のフォローはあるのか。
- (3) 教育支援センターの利用状況は。フリースクールとの連携は。
- (4) 不登校の要因となるいじめについて、いじめが0（ゼロ）件であると報告している学校があるようだが。
- (5) さわやか相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーは、満足に働いているか。保護者や子どもの信頼を得ているか。

第1 2 通告者

9 番 黒 須 大 一 郎 議員

1 特産館と商業振興について

- (1) 市特産品の状況は。品目、販売の推移（売上額・数）、個々の販売状況（店頭・ネット販売など業態）は。
- (2) シティプロモーション（CP）戦略での特産品の位置は。一般に特産品とは、気候・文化風土を生かした一品。特産品は、名品であり逸品である。市のCP戦略は、市場競争力が乏しい市特産品の向上を図り、一品を見つけ、生み出したりする戦略・事業ではないのか。
- (3) 特産館の閉館にあたり、どのような総括、協議が行われたのか。累積赤字や効果の検証、また、閉館決定までの協議等を時系列で説明を求める。
- (4) 特産館の今後は。閉館セール等のイベント有無は。閉館後の利用についてどのような協議をして、いつまでに結論を出すのか。閉館時なのか、本年度中なのか。また、予算残はどうなるのか。
- (5) 平成17年2月に商工会が策定したTMO構想について、特産館閉館を契機に見直し、または、新構想（プラン）を図るべきと考える。空き家関連の規制も変わり、策定時の白岡駅西口広場も変更され、市特産品も過渡期に来ているし、市の土地利用も白岡中学校周辺の開発等大きく動き出した。

2 新白岡駅周辺の未活用市有地の活用と、いつもの街で素敵な発見のために

- (1) 新白岡駅周辺の市有地の状況等は。市役所連絡所整備の検討課題（時系列でプロセスも説明）、個々の購入価格、時期（当初の購入目的も）は。新白岡駅周辺の地価や商業環境の変動をどのように把握し、それらの見通しをどう見据えているのか。
- (2) 新白岡駅西口は、市内外企業送迎バスも多い。ここをより良くして、市の顔として力を入れるべきである。バスやタクシー、障がい者スペースにシェルターを。ロータリー中心部にモータープール化、未植樹の歩道花壇の活用。柴山沼周辺まで自転車専用路の整備。駅自由通路にエスカレーターを。

第5次総合振興計画後期実施計画では、プランがあるが予算がつかない状況で現状維持とされている。プラン（構想）だけでリアルティがなく、そのためのデバイス（工夫・仕掛け）が示されてはいないのでは。そもそも優先度が、白岡中学校周辺区域土地利用推進事業より低いBということは、新白岡周辺住民の住環境整備を軽視してはいないか。

- (3) 現状を前へ進め、リアルティをもたらすデバイスやソフトとして、コミュニティサイクル（バイクシェア）事業を開始し、東西交通の不便さを強みにし、JRの駅が2つある特性をしっかりと生かす。いつもの街が、より素敵で住みやすい街になり、未活用市有地の活用も図れるのでは。

※ COGICOGI SMART!など企業が運営・コンサルトを全国の自治体と本事業を始めている。少ない投資と、早期整備により、西口は大山方面や久喜市内からと、東口は菫菫地区や宮代方面の利用増が期待でき、自転車なら移動間でも出会いもあり地域の賑わいが促進される。目指す都市像は、少々面倒だが無いものは無いと言える白岡的循環型社会の実現である。そして、その都市像構想にリアルティを持たせ市民が都市戦略を理解しやすくする。

第13 通告者

7番 大島 勉 議員

1 消滅予想都市にみる当市の展望について

- (1) 当市の20～39歳の女性人口は。
- (2) 現在の市の状況は。
- (3) 政策はどうなっているか。
- (4) 今後の方向性をどう考えるか。